

「フランス語第Ⅳ」講座番号一覧表

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
151	フランス語第Ⅳ(AⅡ)	クロズ・山口, エリアンヌ	金 4
152	フランス語第Ⅳ(AⅡ)	関 幸太郎	月 1
153	フランス語第Ⅳ(AⅡ)	高橋 俊幸	水 4
154	フランス語第Ⅳ(AⅡ)	ブレッフュエル, ロミュアルド	月 2
155	フランス語第Ⅳ(AⅡ)	ベルナール・ミルティル, ロランス	木 4
201	フランス語第Ⅳ(B)	家山 也寿生	木 4
202	フランス語第Ⅳ(B)	ヴァリエンヌ, コリンヌ	木 2
203	フランス語第Ⅳ(B)	熊木 淳	月 1
204	フランス語第Ⅳ(B)	黒木 朋興	金 4
205	フランス語第Ⅳ(B)	クロズ・山口, エリアンヌ	金 3
206	フランス語第Ⅳ(B)	設楽 聡子	金 5
207	フランス語第Ⅳ(B)	関 幸太郎	水 1
208	フランス語第Ⅳ(B)	高橋 俊幸	水 3
209	フランス語第Ⅳ(B)	山上 昌子	水 5

フランス語第Ⅳ(A I)

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(秋学期)

EXPRESSION ORALE et ÉCRITE

春学期・秋学期：火4

アンリ, ナタリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Ce cours est destiné aux étudiants ayant déjà un bon niveau de français, et plus spécialement à ceux ayant séjourné durant une certaine période dans un pays francophone. Le but est d'améliorer l'expression orale, pour une présentation concise et précise d'idées, personnelles ou autres, ainsi que l'expression écrite, par l'étude de la méthodologie des structures de textes.

Le travail peut se faire sous forme de lecture-commentaire, compte rendu, débat, discussion, exposé, soit à partir de supports écrits, soit à partir de recherches effectuées par les étudiants. Il est d'autre part possible d'intégrer d'autres apprentissages selon les besoins.

この授業は法学部フランス語入試合格者1-2年、帰国子女を主な対象とし、その他既習者の積極的参加を期待します。このクラスは特に会話能力に関してA1のややレベルの高いクラスです。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席状況、授業態度)、レポート

テキスト(教科書):

必要に応じてプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

Une entrevue aura lieu en début d'année pour évaluer le niveau de langue.

Pour tout renseignement : nat_g_henry@ybb.ne.jp

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(秋学期)

中級文法

春学期・秋学期：月4

岩下 綾

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語をすでに2年程度学習した経験のある学生を対象とした中級文法クラスです。

春学期は法学部フランス語統一教科書『ZOOM!』を用いて駆け足で文法の復習を行います。文法復習が終了した後はプリントを配布し、文法を確認しながらさまざまなテーマのフランス語テキストを講読します。テキストは受講者と相談の上決定したいと思います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業参加・宿題など)と期末試験。

テキスト(教科書):

法学部フランス語共通教科書『ズーム! (新訂版)』(慶應義塾大学法学部フランス語部会著、駿河台

出版社) ISBN978-4-411-01107-7

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(秋学期)

フランス語と異文化間のプレゼンテーション(初級会話)

春学期・秋学期：木3

ヴァリエンス, コリンヌ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語をすでに2年程度学習した経験のある学生を対象とした初級会話クラスです。

授業では、フランス文化と異文化間のプレゼンテーションに関するテキストを読む/理解します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

評価基準: 出席、授業への参加、宿題、年度末試験

テキスト(教科書):

なし

参考書:

辞書

担当教員から履修者へのコメント:

宿題は必ずすること。その週の新出語と新出表現を覚えること。

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(秋学期)

フランス語文献講読

春学期・秋学期：木4

大出 敦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、フランス語入試合格者と帰国生を対象にしたフランス語の文献講読です。中級ないしはそれ以上のレベルの学生を対象とし、単にフランス語の文献を日本語に移し替えるのではなく、フランス語で書かれている内容を理解し、それにふさわしい日本語は何かを議論しながら模索していきます。テキストですが、人文・社会科学に関するフランス語の文献を考えていますが、初講時に指示します。基本的にはコピーで配布する予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(授業参加度)及びレポート課題により評価します

テキスト(教科書):

コピーで配付

参考書:

特になし

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの内容を理解して、読む訓練をしましょう。

質問・相談:

随時受け付けます。

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(A I) 1 単位(秋学期)

フランス語で文化とコミュニケーション

春学期・秋学期：水3

クレメール 小椋, アレクサンドラ J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このコースは中上級レベル学生に適しています。

フランス社会とニュースに関する資料(教科書、新聞記事、映像など)から、社会、文化などへの理解を深め、それぞれのテーマについて簡単なフランス語で議論を行います。そのため、授業では主としてフランス語を用います。

受講生の到達目標:

-フランス社会についての理解を深める。

-新しいイディオムや表現を覚える。

-フランス語で自分の意見を簡単に説明できるようになる。

-日本とフランスとの間の共通点および相違点について考える。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業中の参加/課題、プレゼンテーション

テキスト(教科書):

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

今まで学習したフランス語を使える良い機会だと思ってください。スキルを最大限のばすために、出席と積極的な授業参加は必須事項です。

辞書または語彙集を強くお勧めします。

3回以上の欠席は認めません。

質問・相談:

授業内

フランス語第Ⅳ(AⅡ)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

現代フランス語で現代文化
春学期・秋学期：金4

クロズ・山口, エリアンヌ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

パリ生まれのネイティブとともにフランスの文化、歴史、そして現在のフランスを発見しましょう！フランス人みんなが知っている人物、料理、学校、建物、マンガなどが授業のテーマになります。学習者のレベルに合わせた語註、文化説明、文法練習問題のある教科書を使用し、分かりやすい授業を目指します。飲食物、著名人、歴史・制度、産業・教育・労働、言語・メディア・文化、そして日常生活に関する選ばれたシンボルを理解し、語学レベルを高めるため、次の4つのステップを準備しています：

Lire: テキスト理解のためのアクティビティ

Parler: テーマに基づいたディスカッションを活発にするための質問

Rechercher: テーマ別の簡単な発表を手助けするヒント

Ecouter: 話題によってビデオも使います。聞き取る力のup!

教科書だけではなく、ビデオも使います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト60%、レポート40%

テキスト(教科書):

Clés pour la France, volume 3

Denis C. Meyer / Takashi Kitamura

Hachette 2017年

ISBN978-4-907970-16-1

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

フランス語で聖書を読む。

春学期・秋学期：月1

関 幸太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

旧約聖書・創世記のフランス語訳読解を中心とする授業です。できるだけ学生さんたちに授業をリードしていただくかたちで運営したいと思っています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

あらかじめそれぞれの学生さんたちに担当していただく箇所を決め、担当していただく回には担当箇所のフランス語による朗読、仏文和訳、コメントや分析を簡単な発表形式でしていただくこと、同時にその発表の内容の原稿（フランス語文の手書きによる筆写、和訳、コメントの下書きなど）を提出、以上をそれぞれの学期中に二回、授業時間内で簡単に書ける程度のレポートを一回、授業出席の頻度、以上の質で評価させていただきます。

テキスト(教科書):

授業中に抜粋をプリントして配布します。

参考書:

特にありません。

担当教員から履修者へのコメント:

信仰の有無はもちろん問いません（ぼく自身、無信仰です）。特定の宗教を称賛したり排除せず、ただ穏やかな気持ちでフランス語に親しむことができたかと思っています。

質問・相談:

特にありません。

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

フランスオペラの台本を読む

春学期・秋学期：水4

高橋 俊幸

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランスオペラの代表作、ビゼーの『カルメン』の台本を読みます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験の結果 (50点)

平常点: 出席状況および授業態度による評価 (50点)

テキスト(教科書):

プリントを配布

担当教員から履修者へのコメント:

とりあえず初級文法が身につけていることが必須です（特に動詞の時制）。履修者は毎回予習が求められますので、やる気のある学生の履修を希望します。

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

フランス語会話・表現練習・日仏比較文化

春学期・秋学期：月2

ブレッフュエル, ロミュアルド

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語会話に必要な基礎知識、日常生活の様々な場面に対応できる自然なフランス語を習得します。会話において基礎文法・基本表現等を応用できる思考力を養うとともに、言語の背景となっているフランス文化に関する幅広く豊かな知識を身につけます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

各学期（春・秋）の中間・期末試験ならびに平常点（出席点、遅刻数、授業態度）により評価します。

テキスト(教科書):

CD&ワークブック付 場面で学ぶフランス語2 [改訂版] EN SCENE

II Nouvelle édition

高橋百代 著/ Brigitte HORI 著/ 林宏和 著/ Cédric YAHYAOUÏ 著

出版社: 三修社; 改訂版 (2017/2/20)

ISBN: 978-4-384-23210-3 C1085

担当教員から履修者へのコメント:

毎回の予習、復習は勿論のこと、授業への積極的な参加が望まれます。

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

日常的に使えるフランス語

Le français au quotidien

春学期・秋学期：木4

ベルナール・ミルティール, ロランス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

会話、発音、読解、聞き取りの力を総合的に高めるための授業です。

この授業では、フランス語で日常生活を送るのに必要なコミュニケーション能力を身につけ、実際にフランス人と出会った時に自信をもって話せるようになることを目指します。ポイントは、勉強を楽しむ、「フランス語で学ぶ」ことです。

現在使われている生きたフランス語のしゅきをきちんと理解し、それを確実に自分のものにするのがフランス語学習の大事な基盤となります。教科書を用いながらも、具体的に必要な状況を想定して語彙や言い回しを補い、会話の練習を繰り返します。

教科書の各課のフランス語会話には日本語訳がついており、使われている単語1つ1つの意味は巻末の単語集にまとめてありますから、辞書を引く時間を他のより有効な学習に回せます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席率と授業への積極的な参加を重視します。出席および参加態度、宿題、ダイアログの作成などにより、総合的に評価を行います。

テキスト(教科書):

『セーヌ ドゥ ヴィ』“Scenes de vie pour la communication” 倉方秀

憲著 早美出版社 2,200円

参考書:

特に必要ありません。皆さんが学習意欲・興味を持つ分野等にに応じて、希望者には参考文献を紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

フランス語で自信をもって意見を述べる能力を養います。なるべく大きな声ではっきりと発音すること、わからない時は恥ずかしながらすぐに質問することをお勧めします。

間違いを恐れず積極的に授業に参加し、フランス語学習を楽しんで
いただきたいと思います。

欠席や遅刻はなるべく避けるようにお願いします。

質問・相談:

メールアドレス : lbmirtil@z8.keio.jp

フランス語第Ⅳ(B)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

パリだけがフランスじゃない

春学期・秋学期：木4

家山 也寿生

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランスの地方は、日本のそれに負けず劣らず多種多様です。他方、パリの人口はここ四半世紀で見るとほぼ横ばい状態ですから、日本のような都市部への人口集中は認められません。生まれ育った故郷での暮らしに魅力や充足感を抱く人々が常にいることにその一因があるのだろうか、そう思いたくなるほどにフランスの地方色は色褪せずヴィヴィッドです。この授業では、現地に暮らすのでもなければなかなか触れる機会のないそんな全国津々浦々の地理的・歴史的・文化的な豊かさに迫ります。

授業の中軸となるのは指定教科書のテキスト講読です。そのうえで、関連する映像資料(教員が付けた日本語やフランス語の字幕あり)も視聴してみんなで意見や感想を交わしながら、各地域の自然や文化、生活がさらに身近に感じられるようなコーナーも毎回設けます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期:音読(50%)+訳読(20%)+課題(20%)+発言意欲(10%)

秋学期:音読(25%)+訳読(25%)+課題(30%)+発言意欲(20%)

なおどちらの学期においても、総合得点から欠席回数をさらに減点(-5点/回)して最終評価とする。

テキスト(教科書):

『フランス、地方を巡る旅』、Fabienne Guillemin 著、駿河台出版社、2017年、ISBN:978-4-411-01352-1 C1085

参考書:

『ズーム!—新訂版—』、慶應義塾大学法学部フランス語部会、駿河台出版社、2013年、ISBN:978-4-411-01107-7 C1085

担当教員から履修者へのコメント:

春学期の評価方法から察せられる通り、この授業ではきちんと音読できるか・そうしようと努めているかが非常に重視されます。1年次にフランス語の綴り字をある程度正しく読めてきたこと、もしくはこれからでもしっかり読めるようになるようとする意志が、履修継続と単位取得とは不可欠です。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス語 コミュニケーション

春学期・秋学期：木2

ヴァリエンス, コリンヌ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

まず、日常生活に基づいたダイアログを読み、理解する。次に、これをモデルとして、学生それぞれがフランス語によるミニ会話を実践する。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

評価基準:出席、授業への参加、宿題、年度末試験

テキスト(教科書):

なし

参考書:

辞書

担当教員から履修者へのコメント:

宿題は必ずすること。その週の新出語と新出表現を覚えること。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

現代ミステリー作家の短編を読む

春学期・秋学期：月1

熊木 淳

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に現代のミステリー作家13人が寄稿した『13 à table!』のうち、一編の短編を読みます。主にミステリーの分野で活躍する作家で、フ

ランスのベストセラーの作品が収録されています。そのため現代のフランスの文化や社会状況などを色濃く反映した作品が多く、現代フランスを知るよい教材になるでしょう。そのためフランス語の授業や文学作品の講読などでは習わない俗語や辞書に載っていない慣用表現などが頻出するため、そういったものを調べる手段も学びます。またある程度講読が進んだ段階で作品のバックグラウンドにある社会状況や、当該の作家についてなどについて解説を行います。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末に購読のテストを行う予定です。指定のテキストを訳してもらったことを考えています。具体的には授業内で話し合っただけで済ませたいと思います。

テキスト(教科書):

13 à table!, Pocket, 2014

使用するテキストは上記のものですが、入手困難な可能性もあるので該当箇所をコピーして配布する場合があります。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

若者のフランス語

春学期・秋学期：金4

黒木 朋興

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

20代のフランス人女性がフランス語部分を執筆した教科書を講読する。教科書は対話からなる口語形式の文章と文語形式の文章からなっている。

また、対話文の箇所を使って会話練習も行なう。

上記の文章の読解を通して、「複合過去/半過去」の使い分け、「英語の仮定法とフランス語の条件法/接続法の違い」、「冠詞の使い分け」や「可算/不可算の概念について」などの文法事項を意味の観点から解説する。

内容に関しては、受講者との相談の上、若干の微調整をすることがある。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験:80%

平常点(出欠含む):20%

テキスト(教科書):

『エマのフランス』 Noémie Daniel, 黒木朋興 著 駿河台出版社 2012年

ISBN:4411013452

随時、プリントを配布する。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

現代フランス語で現代文化

春学期・秋学期：金3

クロズ・山口, エリアンス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

パリ生まれのネイティブとともにフランスの文化、歴史、そして現在のフランスを発見しましょう!フランス人みんなが知っている人物、料理、学校、建物、マンガなどが授業のテーマになります。

学習者のレベルに合わせた語註、文化説明、文法練習問題のある教科書を使用し、分かりやすい授業を目指します。

飲食物、著名人、歴史・制度、産業・教育・労働、言語・メディア・文化、そして日常生活に関するシンボルを理解し、語学レベルを高めるため、次の4つのステップを準備しています:

Lire: テキスト理解のためのアクティビティ

Parler: デーマに基づいたディスカッションを活発にするための質問

Rechercher: テーマ別の簡単な発表を手助けするヒント

Ecouter: 話題によってビデオも使います。聞き取る力のup!

なお教科書は「フランス語第Ⅳ」の(AII)と(B)は同じものになりますが、こちらの授業の方が学生のレベルに合わせてゆっくと進みます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業中の小テスト60%、レポート40%

テキスト(教科書):

Clés pour la France, volume 2

Denis C. Meyer / Takashi Kitamura
Hachette 2017年
ISBN978-4-90797-17-8

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス語の文章を暗記しよう
春学期・秋学期：金5

設楽 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、フランス語の文章をできるだけ多く暗記することをめざします。主に文学作品から抜粋した質のよいフランス語の文を、読解したうえで暗記してもらいます。これらの作業を通して、フランス語の文の構造や思考回路の基本を身につけることが本講義のねらいです。

授業では、テキストの文法や意味を確認する作業を行った後、CaLabo Exという最新のPC型語学教育支援システムを使って、文自体を各自で反復練習する時間を設け、発音の個別指導を行います。テキストの音・スペル・意味のすべてを丸ごと覚えてしまいましょう。扱う作品は、フランス人なら誰でも知っていて子供の頃に暗記している古典から、現代の文学まで、幅広い内容です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業内試験（前期・後期ともに、中間テスト・期末テスト・暗唱テストの3回）、および平常点（授業の出席状況や参加姿勢）によって総合的に評価します。

テキスト(教科書)：

『レクチュールの冒険-新編・フランス文学選』朝日出版社 2005年
ISBN: 4-255-35170-8 C1085

参考書：

授業時に随時紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

若い頃に暗記したものは、後々まで記憶に残り、外国語学習にはとても有効です。授業では、テキストの意味や文法事項の確認はすみやかに終わらせ、読んだ文を反復練習する時間をもうけたいので、予習復習が不可欠です。積極的に授業に参加し、自宅学習も怠らない姿勢を望みます。

なお、遅刻・欠席は授業内容を理解する上で大きな妨げとなりますので、極力さけるよう心がけて下さい。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス語でシュールな詩を読む。
春学期・秋学期：水1

関 幸太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

フランス20世紀の詩人アンリ・ミショーの詩を読みながら、フランス語の魅力、外国語を学ぶ喜びを再確認しましょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

各学期ごとにテキストから担当箇所を決め、仏文和訳とコメントを簡単なエクスポゼ（プチ発表）形式で二回（その時にその原稿（訳す仏文の手書きによる筆者と和訳、コメント）を提出）。プラス何か授業内で書ける程度のレポート一回。以上の質、出席の頻度。

テキスト(教科書)：

授業中に、プリントしたものを数回分ごとに配布します。

参考書：

特にありません。

担当教員から履修者へのコメント：

詩やシュールレアリスムに興味を持っている学生さんとお会いできるのを楽しみにしております。

仏和の辞書を教室に持参してください。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

『トリスタンとイゾー』を読む
春学期・秋学期：水3

高橋 俊幸

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

『トリスタンとイゾー』を読みます。ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』が有名ですが、元々は12世紀フランスで誕生した物語です。現代語に直した版を使用します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

試験の結果（50点）

平常点：出席状況および授業態度による評価（50点）

テキスト(教科書)：

『トリスタンとイゾー』（朝日出版社）ISBN: 4-255-35070-1

担当教員から履修者へのコメント：

履修者は毎回予習が求められますので、やる気のある学生の履修を希望します。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス社会を知る
春学期・秋学期：水5

山上 昌子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

政治、経済、文化、歴史等、様々なトピックによってフランスの現代社会を考えると共に、単に辞書で調べた訳語を適宜並べるのではなく、文の構造を意識して、応用のきく確かな力をつけることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

課題を含む平常点（40%）と試験の結果（60%）で評価します。3回以上欠席した学生には追加レポートが課されます。それを提出しなければ試験は受けられません。また、出席回数がはなはだしく少ない場合、試験を受けられないことがあります。

テキスト(教科書)：

『時事フランス語2020年度版』、石井洋二郎・ミシェル・サガズ著、朝日出版社、2020年
ISBN : 978-4-255-35313-5

担当教員から履修者へのコメント：

1回の授業で進む分量は決して多くありません。予習する習慣をつけましょう。気になることがある時は、どんな小さなことでも遠慮なく質問して下さい。

質問・相談：

授業の前後に教室で受け付けます。